

あさぎり町は3年目を迎えます



平成17年度 上小学校入学式

あさぎり 議会だより

第7号

平成17年
4月28日発行



緊張気味な新一年生（上小学校）

町民の声	議会の動き	一般質問	当初予算	三月定例会
16P	14P 15P	8P 13P	4P 7P	2P 3P

主な内容

整備完了

拠点として



サッカー公式試合誘致への期待

総事業費4億3千500万円（公園整備費含む）

平成十四年から整備を行っており、森園カントリーパーク整備がこのほど完了致しました。
この整備事業は、旧岡原村が専門的スポーツやレクリエーションを展開できる施設として、国の補助を受け三ヶ年計画で岡原南（永岡）に工事

第1回あさぎり町定例議会は、3月10日から3月25日までの16日間の日程で開催されました。一般質問は2日間で行われ、初日の10日に6名、11日に6名の計12名が登壇し執行部の考えを質しました。

上程された議案は、平成16年度一般会計など補正予算案件9件、条例の制定案件4件、条例の改正案件12件、平成17年度一般会計など当初予算案件9件等計46件にのぼり、長期間にわたり

審議し、46件中45件を原案通り可決しました。議案第11号（あさぎり町出生祝い金支給条例の一部を改正する条例の制定について）は、撤回されました。（下段に内容を掲載）

第1回臨時議会は2月10日に開催され、上程された議案は、一般会計補正予算第7号の専決処分の報告及び承認案件3件、一般会計補正予算等の議案2件の計5件で、全議案を原案通り承認・可決しました。

議案第11号を撤回

議案第11号

（出生祝い金を、5万円から3万円に減額する条例案）を、提案されたが、議員より、再考を求める意見が複数あり、町としても検討の後、「少子高齢化の中、一考の必要があり、今後、行財政改革をすすめながら、検討した結果をふまえて再提出する。」として撤回されました。

もりその 森園カントリーパーク 多目的広場

生涯スポーツの場として、住民交流の



少年サッカー大会



ジョギングロード及び夜間照明



管 理 棟



完成したサッカー場

多目的広場では、本格的な芝を用いたサッカー場があり、夜間でも照明施設を利用すれば各種競技会等を開催することが出来ます。九月の県民体育祭のサッカーメイン会場として決定しており、その他公式競技大会誘致の期待も高まっています。

その他にゲートボール、グランドゴルフ等を楽しむことができます。外周にはゴムチップを施した延長五五〇メートルのジョギングロードがあり散歩やジョギング、本格的な長・短距離の練習場としても最適です。

多目的トイレ、駐車場も完備されており、町では、休日には家族連れでの利用をと、呼びかけています。

を進めていたもので、合併後、あさぎり町で引継ぎ完成させたものです。

遊歩道を昇ると十五分で展望所に到着します。眼下に広がるあさぎり町の眺望が見事です。又、帰路には一〇〇mあるローラー滑り台も楽しめます。

豊かな自然環境を保全し、四季折々の自然とのふれあいと、住民間の交流拠点として、現況の起伏を十分生かした整備を行い、景観性及び安全性の向上を図るための修景緑化を施し、緑の拠点施設としての整備がなされています。

平成17年度一般会計

当初予算102億1,970万円

(対前年度比1億7,800万円減)

■当初予算目的別歳入の状況

(単位：千円)

款	説明	平成17年度予算額	平成16年度予算額	比較
町 税	町民税、固定資産税、市町村たばこ税など	1,031,764	1,031,764	1.922
譲与税等	地方譲与税、地方交付税、ゴルフ場利用税など	516,500	458,100	58.400
地方交付税	国庫補助収入額に不足する分を国庫からの交付金	4,590,000	4,471,600	118.400
分担金負担金	受益者分担金や関係者から徴収する負担金	82,646	107,461	△ 24,815
使用料手数料	施設使用料や行政サービスに対する手数料	164,107	140,919	23,188
国庫支出金	国からの補助金	806,933	838,642	△ 31,709
県支出金	県からの補助金	640,192	621,275	18,917
財産収入寄付金	財産運用・売却収入や寄付金	40,853	53,334	△ 12,481
繰入金	基金からの繰入金等	512,000	766,000	△254,000
繰越金		200,000	100,000	100,000
諸収入	雑入、預金利息等	96,983	80,105	16,878
町 債	町の借入金	1,535,800	1,728,500	△192,700
歳入合計		10,219,700	10,397,700	△178,000

■当初予算目的別歳出の状況

(単位：千円)

款	説明	平成17年度予算額	平成16年度予算額	比較
議会費	議員報酬、事務経費費他	135,019	149,609	△ 14,590
総務費	総務管理、事務、住民基本台帳費、統計調査など	1,312,917	1,307,996	4,921
民生費	社会福祉、児童福祉	2,541,413	2,488,790	52,623
衛生費	保健衛生、清掃費など	790,262	749,864	40,398
農林水産費	農業、林業、水産業など	875,757	1,013,619	△137,862
商工観光費	商工、観光、定住促進など	126,313	133,898	△ 7,585
土木費	土木管理、道路橋ひょう、住宅、下水道など	1,273,550	1,635,317	△361,767
消防費	上級消防組合負担金、消防団他	338,034	372,856	△ 34,822
教育費	小・中・高学、生涯学習、文化財、保健体育など	1,244,587	905,111	339,476
災害復旧費		38,218	60	38,158
公債費	町の借入金及び利息返消費	1,533,630	1,630,580	△ 96,950
予備費		10,000	10,000	0
歳出合計		10,219,700	10,397,700	△178,000

給食センター建設費に 5億500万円

予算はこんなことに使われます

総務管理費

球磨川水源の森購入負担金
(球磨川水源付近の原生林約246haを錦、水上、湯前・多良木と本町の5カ町村が、それぞれ5分の1の所有権で取得するもの。5ヵ年払いの1年分)
327万円
あさぎり夢祭り実行委員会補助金
1,620万円

社会福祉費

社会福祉協議会運営費補助金
8,400万円
福祉乗り合いタクシー補助金
745万円
老人施設入所措置費
7,942万円
老人医療特別会計繰出金
1億4,922万円
介護保険特別会計繰出金
1億8,568万円
保育所費
(町立保育所4所の運営費)
3億1,392万円
保育所運営費負担金
(私立保育園7園の運営費負担金)
5億2,441万円
乳幼児医療費給付金
4,051万円
総合検診委託料
1億0,644万円
簡易水道事業会計繰出金
2億1,102万円

農業費

新規就農者祝品
180万円
無人ヘリコプター整備事業補助金
409万円

商工費

ふるさと振興社助成金
702万円

住宅費

8戸新築、22戸改修
1億5,770万円

消防費

上球磨消防組合負担金
2億3,592万円

下水道費

下水道事業会計繰出金
3億3,989万円

小学校費

多人数TT臨時講師賃金
369万円

生涯学習費

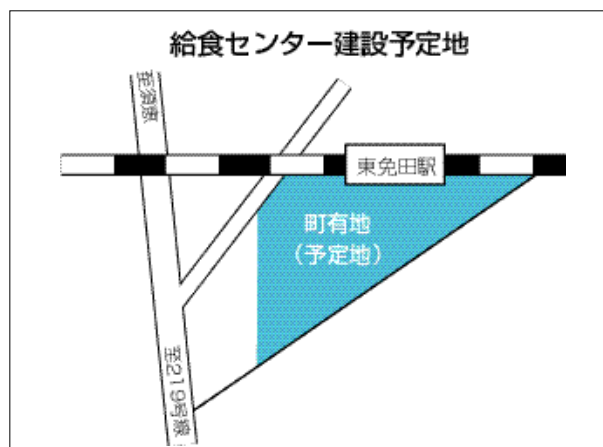
指定文化財修理費補助金
115万円

保健体育費

県民体育祭実行委員会補助金
457万円

学校給食費

給食センター建設費
5億0,517万円



予算審議の主な内容（抜粋）

問 小中学校の備品購入費が対前年比五十三%となつていますが、教育費として国から交付税の算定基準で示された額は教育費に全額使ってもらいたい。

答 事業計画の重要度に応じてバランスよく使っていく。

問 職員の時間外勤務手当等の見直しをされるのか。

答 振替休日を実施し、改善していきたい。

問 町有地貸付で、七十%以上減免となつているところもあるが、今後の見直しは。

答 できれば払い下げて買って買って頂きたいと思つてゐる。

問 昨年の台風災害対策事業が見当たらないが、具体的にどこで対応されるのか。

れるのか。

答 国の補助事業を活用して強化ハウス等の事業に取り組みたい。

問 環境保全型畜産経営育成補助金が予算化していないが、堆肥舎建設は終了したか。

答 畜産環境リース事業も三年延長され建設希望があれば対応する。

問 町農業振興事業補助金（一千万円）で、今年度も1/2助成できるのか。

答 本年度は申請件数が多く、1/2はできない。色んな角度から優先順位を決めたい。

問 山林監視員、森林作業員は別額報酬となつて日額はいくらか。

答 山林監視員として月四日、報酬日額一万一千二百円、森林作業員として月に十五日、賃金日額七千五百円

問 ふるさと振興社の経営改善策は、物産館の移転も含めてどう考えているか。

答 国道沿いの出店も視野に入れ検討している。

問 有機センターで、床土等の開発販売も検討できないか。

答 床土の開発も指示している。

問 定期路線バスの運行に対する補助金は今後見直されるのか。

答 あさぎり町だけでは判断できない。

問 あさぎり夢まつりも、芸能人に多額の経費をかけるより地元出演で手

答 祭りはできないか。今後は手作りの祭りの方向に進めたい。

問 人材派遣業者からの受入人数もかなりあるが、この業務をふるさと振興社で行えないか。

答 検討したい。

問 特別職給料に収入役の給料も含まれているのか。

答 新年度予算に含まれている。

問 自立経営農家育成事業助成金は、昨年度大幅な減額補正をされているが、規制が厳しすぎないか。

答 五年間は見直しができないことになつていますが、農業委員会でも見直しに向け検討がなされている。



賑わった花まつり



昨年の夢まつり

17年度当初予算に 反対討論がありました

理由

行財政改革の骨子が示されたが、町長及び執行部、議会の行財政改革については、何も示されていない。

町長及び議会が自ら進んで給料及び報酬の一部を削る様な行革を行う位の覚悟を持たなければ、真の行革とは云えない。10年後は、今年度予算より3割位の減額予算を覚悟しなければならない。今年より、もっと厳しい財政運営を行い、少しでも財政調整基金(貯金)を残すことを考えなければ、今後おきるであろう諸問題に対応出来ないという主旨の反対討論がありました。

平成17年度 特別会計 当初予算

会計名	平成17年度予算額	平成16年度予算額	比較	
			増減額	増減率
国民健康保険特別会計	1,927,000	1,814,700	112,300	6.2
老人保健医療特別会計	1,909,500	1,888,600	20,900	1.1
介護保険特別会計	1,354,146	1,306,400	47,746	3.7
簡易水道事業特別会計	482,536	401,800	80,736	15.1
水道事業特別会計	81,900	77,309	4,592	5.9
下水道事業特別会計	1,402,600	1,553,400	△150,800	△9.7
上財産区特別会計	89,200	95,900	△6,700	△7.0
土地取得特別会計	122,381	100,918	21,465	21.3
合計	7,349,264	7,239,025	110,239	1.5

(単位：千円・%)

途になっているか。

答 商工事業費、駐車場維持費、商品券事業費となっている。

問 高齢者安否確認事業委託料は、どう使われるのか。

答 老人クラブ連合会シルバーヘルプ部会へ。

問 固定資産税土地評価業務委託はどのような

必要額で行われるのか。

答 不動産鑑定士に委託する。

問 家屋の全棟調査の考えは、全棟調査に取り組む事にする。

問 社会福祉協議会への補助金は対前年度比

一千七百万円増加の内容は、

答 派遣職員二名増の人員費が主である。

問 保育料は前年度と比較してどう変わるか。上限三万円を維持したい。

問 平成十六年度決算見込みの数値は、經常収支比率を九〇%に落ちつかせたい。他の数値は決算が出ないと現時点ではわからない。

問 新規就農者祝品は農業者だけが。

答 不公平感はあるが農業を基幹産業ととらえている。

問 修学旅行補助の減額は、補助率一割カットして小学校一人当たり四千五百円、中学校一人当たり二万七千円とした。

問 今後、支所のあり方は、十五分構想が整備されれば、支所を無くす事もある。

生命を守る防災・防犯・交通安全対策について

耐震調査は全然していない

奥田 公人 議員



難訓練、地震、火災を想定した避難訓練や初期消火訓練を実施している。

問1 自力で避難が不可能な災害弱者と言われる人達の把握と、広域的な自然災害が発生した場合の避難対策はどの様に取り組まれているか。

町長 現状では自主避難の対応をしている。
高齡総合課長 避難場所として、総合福祉センター・ふれあい福祉センター・白寿荘でお願いしている。平成十六年の台風による自主避難状況は合計百五十五名を把握している。

問2 保育所や小中学校、特別養護老人ホーム等の避難訓練は定期的を実施されているのか。

町長 小中学校においては、学期ごとに風水害に対する避

難訓練、地震、火災を想定した避難訓練や初期消火訓練を実施している。

問3 公共の施設は住民の応急避難場所としての重要な役割を果たすべき施設でもあり、新耐震基準を満たすべき建物として優先順位を定め、早急に整備していく必要があると思つが、定期的な点検や診断は行われているのか。

総務課長 残念ながら、耐震診断の必要がある建物でも、耐震調査は町の公共施設では全然していない。
教育総務課長 必要はあるところかと思つが、耐震診断の計画は作っていない。

問4 小中学校での不審者による犯罪が増加する中で生徒や保護者に対する指導や、防犯対策は完璧に行われているか。

教育長 毎月、定例の校長会

において毎回必ず、「学校においては危機意識を持って油断しない様に!!」指導している。
教育総務課長 小中学校の教室に押しボタンス式の緊急通報装置の設置が進められている。管内小中学校へ、不審者侵入対応の道具として刺股を配備、又学校敷地への外部か

らの侵入を防止する為、フェンスや門扉を整備している。
問5 交通弱者や歩行者の安全確保の面から歩道の完備や防犯灯の増設が必要と思つが、町の取り組みはどうか。
総務課長 防犯灯は年間七十五万円しか予算要求していない。

男女共同参画推進懇話会の設置は

できれば十七年度中に立ち上げたい



田原 健一 議員

ついでには各種講演会へ参加することにより、又、町民の方には広報紙、回覧等により趣旨の周知を図っていくことにより推進していきたい。

今後、男女共同参画についての組織を立ち上げ、地域への推進体制を図っていく。

家事・育児・介護等の家庭生活と職場、学校、地域社会での活動が両立できるように啓発を図り、理解を深めていきたい。

地域福祉計画に基づき、各課連携を図りながら、女性に

問 男女共同参画に関する国の基本計画の策定、県の条例の制定の流れの中、総合計画にうたわれている施策の実現に向けた取り組みは
町長 男女の相互理解を深めるため、まず役場職員に対する教育を実施するとともに地域のリーダー及び担当者に

対する人権侵害をなくす相談支援体制を充実させていきたい。

問 推進のための体制づくりを具体的に。

福祉課長 男女共同参画推進懇話会については、十七年度中に立ち上げたい。その後基本計画の策定については懇話会の中で話し合いながら進めていく。

問 管理職女性比率の県平均は五%であるが、あさぎり町においては不在。各種審議会等の女性登用率も県平均一六・九%に対し、九・一%という数値をどのように受け止めるか。

町長 あさぎり町発足時の三十六人の課長はすべて男性で、そのままの形で移行した。今後は定年退職などの機会をとらえながら、女性の登用を考えていきたい。審議会等の委員については、地域審議会、総合計画審議会等には女性委員も入っておられるが、区長会などすべてにわたって考えた場合は人選いたたく地域において、男女共同参画の意識が出てこないと感じるところがある。

企業誘致の受け皿作りは

空き施設の活用も



平田 助弘議員

問 日本、又人吉球磨の景気が回復し、事業拡大に転じた時、今までの姿勢、企業の進出を待っているだけでは遅すぎる感がある。町として、いかなる企業誘致にも対応できる体制を取っておく必要があるのではないか。商工業団地、高齢化社会に対応できる福祉施設の建設用地確保など団地作りが必要と考える。合併をした今こそ町の発展と将来像に光を見いだす時ではないか。若者の働ける職場の確保、夢膨らむあさぎり町を造るため、町長は企業誘致の受け皿作りについてどう考えておられるか。

町長 庁舎については既に空き庁舎が出ており、数年後に

は中学校の統合等で、土地や建物の空きが出てくるであろう。空き施設を企業へ振り向ける事は可能。地元の産業に結びつくような企業誘致を進められたらと思う。インフラ整備も企業誘致には大事な要件。

問 ○四年県内の老人孤独死は二百十二人。発見まで二日以上要した人七十五人。高齢化社会において、少しでも孤独死をなくすために町としても何らかの手立てが必要と考える。昨年、須恵地区でも孤独死があり、発見まで四日は経過していたとの事。現在町の制度の「モシモシ達者かな電話」運営はボランティア。この制度が町の事業として定着していたら、須恵地区で起きた孤独死の発見まで四日もかかるという悲惨な事はなかったらと思う。早急に「モシモシ達者かな電話」を

取り上げて不備のところは見直し、手を加え、予算が伴うなら予算をつけて町全体に連絡網を作り、高齢化社会の今こそ取り組むべきと考えるが。

らっている。活動しやすい環境は町として当然準備すべき。

防犯灯や通学路の整備への取り組みは

内容や状況に応じて対応策を



浦本 秀正議員

問 平成十三年大阪の小学校に暴漢が侵入し二十三人が襲われ八人が死亡し、今年の二月には寝屋川で先生が一人犠牲になっている。

児童もいるため通学路や防犯灯の整備の遅れを心配している。町PTAからも要望のあった横断歩道、防犯灯、通学路の整備への取り組みはその後どう検討されているか。

答 平成十三年大阪の小学校に暴漢が侵入し二十三人が襲われ八人が死亡し、今年の二月には寝屋川で先生が一人犠牲になっている。

問 私立保育園の場合は殆ど防犯の監視ビデオを設置している。二百万円超かかるが公立には設置予定は。

教育総務課長 危険箇所などはそれぞれ関係する課において内容や状況に応じて対応策を検討して取り組んでいくが歩道の整備など相当予算も伴うので難しい面もある。

行財政改革について

行財政改革推進室を作り徹底的に検証する

岩本 幸男議員



町長 協賛済み。林業施策計画は作成中。

問 課の統廃合を十八年度に実施したいとのことだが、現行の統廃合が、グループ制が、部課長制なのか。

町長 現行の課長制を考えているが、あさぎり町に適した形に変わる可能性もある。

問 保育所の統合、民営化、保育料上限の変更、各種手数料、水道料金の見直しなどを示されているが、町民の理解が得られるのか。

町長 公設民営化の方へ進む考えを持っている。

企画財政課長 値上げすることについては、簡単に理解を得ることは難しいと思う。何度となく説明して理解を得ていきたい。

問 少子化解消策としてとつ

てきた政策と、逆行するのではないのか。

企画財政課長 保育料金設定については、今ある上限を少し上げる方法もある。町営と民営でやる保育事業等のバランス等も考えた上で設定していくことになると思う。

問 水道料金とか、各種証明手数料等は、町民の生活に負担を強くかけない形で進めていくべきではないのか。

企画財政課長 全部が全部値上げになるということではない。コストと料金のバランスが判断の基準になると思う。今後一年かけて検討させて頂きたい。

問 医療費削減対策として、高齢者向き、一般向きの体操の開発はできないか。

町長 医療費削減を非常に大きなテーマとして、町もとらえている。

高齢総合課長 現在シルバー

筋力アップ教室、転倒防止教室、健康あさぎり塾等で実施している。

問 それぞれ取り組んでいるようだが実態が見えてこない。広報無線での放送は？

町長 現在はしていない。CATVが入れば映像を入れな

がらできるけれども。問 無受診表彰制度の復活は考えられないのか。

町長 復活した方が医療費が下がる顕著な例があれば取り組むが、厳しい財政の中では、復活は難しいと思う。

行革プラン、議会はいかに

議会の自主性を文章化

刈田 勇一議員



問 行財政改革プラン素案の修正内容と目標数値は。

町長 修正はほとんど無い。改革項目に目標数値を記入し配布する。

問 議会の改革が明示されていない。文言の掲載が必要ではないか。

町長 議会の自主性を尊重し、文章化したい。問 財政計画の改革によって

町の基本構想の見直しが必要とならないか。

町長 改革は基本構想見直しまでは及ばない。

問 厳しい時期であり十七年度着手はできないか。

町長 早速、推進室を設置し十七年度から着手する。

問 県の行革で農業改良普及センター統廃合の案に対し、農業指導機関である農研センターの存続を県に要望してほしい。

町長 町有林（財産区除く）の地域森林整備計画は知事と協賛済みか。

町長 協議済み。林業施策計画は作成中。

問 上財産区は公益法人。その事務は議会の議決のもと町長に執行権がある。財産区の将来の展望と施策計画は。

町長 財産区施業上問題や都合があるときは財産区を解く事もあるが、今は不都合もない。

問 財産区の公益性を福祉向上に役立てるため森林保護は欠かせない。そこで昨年の台風被害対策と三億円基金運用はどのようにされたか。

町長 財産区の運営は平成十四年度施業計画に基づいて実施。台風災害は国の指定を受けて検討する。基金運用は造林、管理に使用し利益が出たら戻し入れをする。

問 熊本県は「水と緑の森づくり税」を課税することになった。徴収した税額は三億九千万円にのぼる予定。この財源を山の大切さを後世に伝えるために児童生徒の緑に対する体験学習等に生かすよう要望してもらいたい。

町長 税金を納める側には抵抗もあるが、納税者には理解を求めて、県には意見の主旨を要望していく。

課の再編成について

課の統廃合により係を集約

宮原 盛幸 議員



にどのようなプラス効果が出てくるのか。またもし降格人事を行う時にはどのような基準で行うのか。

問 現在の課の設置には問題が生じている事は現実であるが、これは合併前の旧5カ町村の協議会で決定されたものである。課の再編成には私もその必要性を認識しているが、これには人事が伴うものであり職員の構成とタイムミン

グが不可欠であり、そしてなによりもスムーズに行政が進む事がベストである。また人事を行うにはそれなりの効果と人徳が必要である。
課の再編を行い課を減らし、また降格人事を行わない限り、課長は減っても審議員が増えるだけで管理職手当ての総額はたいして変わらない。またそれにより職員のやる気をなくしてはしないか。町全体

町長 課の統廃合により係が集約されて、臨時職員や派遣会社の職員を減らして正職員でやっていきたい。管理職手当て等は今回提案している行政改革推進室で検討。

行政改革推進室設置について

問 行政改革は課が減少するのが原則であり、あさぎり町程度の自治体で行政改革推進室なるものを設置し、課を増やし常時職員を置く必要性があるのか。関係する各課に担当者置き月に数回また必要に応じて会合を行い、また客観的立場から行政外の人たちにも意見を求めて協議に参加しガラス張りに行うのがベターだと思いが。そして室長という課長職を置くと管理職手当ても増えもする。

町長 行政改革推進室の室長は課長と同等級を置き、役目が終えたらその時点で閉じたい。

人事評価システムについて

問 どのような基準で評価するのか。民間会社ならある程

度の基準があるが自治体では客観的に人を評価できるのか。好き嫌いで評価しては困るし、町民の皆様も納得しない。
総務課長 評価の対象を業績評価と能力評価の2つの評価方法を導入したい。

残された担い手事業の取り組みは

町単独で順に取り組み

永井 梓 議員



問 旧町村時代より進められて来た担い手基盤整備事業も事業が終わりつつあるようだ。旧町村境界間とか、整備が必要であつても、計画書に載っていない所等、まだ整備が出来ていないと聞く。農業振興地域の除外地であつても当然必要な所もある。今後どのように取り組んでいくのか。

農業振興課長 旧町村の境界間、特に国道沿いの旧免田町

と上村間の整備については、農用地区域から除外されている関係から未整備の区域がある。県と協議していきたいが、新規に施行することは厳しいと聞いており、取り組めない場合には、町単独事業として予算の範囲内で順に整備していきたい。

行・財政改革について

問 効率的な行政構築のため、行政改革プランの策定作業が行われている。その実施計画について問う。

組織改革について

問 審議会等の見直しとあるが、条例の内容を検討した時組織については若干の違いが

見受けられるが、協議の内容については、関連する事が見られる。任務或いは、所掌事務を明記すれば審議会の運営は統合しても問題はないと思うが。

町長 審議会には、法律に基づくもの、町独自のものがある。目的或いは必要性を十分精査した上で、似たようなものについては統合する審議会も出て来よう。関連する条例や規則についても見直したい。

人の改革について

問 非常勤職員等の報酬の見直し、職員給与の見直しとある。当然特別職の給与、議員の報酬の見直しも必要であろう。特に議員の費用弁償については、早急に削減或いは撤廃に向けた見直しも必要と思うが。

町長 給与問題というのは難しい。合併をし、議員五十三名から二十二名になった事で相当節約になったと思う。町が進める行革のプランの中で、そこについては議員にお任せしたい。非常勤職員報酬、職員給与、特別職も含めて、この夏人事院勧告で給与の見直しがある。それらの状況を充分精査した上で町としても考えたい。

給食センター建設予定地及び、ランチルーム設置について

配送の道路事情等を考慮

桑原 武夫議員



問 現在、学校給食に於いて食事環境整備が進み、児童生徒の発達や食習慣形成に多大な成果を遂げてきた。審議委員会にて、センター方式との答申がだされた。建設予定地は決まったのか、調理現場で働く人の意見は十分取り入れられているのか。

教育総務課長 予定地として町有地の有効活用又、各学校への配送の道路事情等を考慮し条件を満たした東免田駅に隣接した町有地を候補地と考えている。今後については、調理現場での意見等も取り入れ設計に反映していく。

問 各学校、PTAよりラン

チルールの設置の強い要望もあるが。

町長 一同に昼食する事についているんな効果が上がっている事は聞いている。中学校統合がどう進むかだが、ランチルーム的なスペースを確保する事の配慮も今後必要と感じている。

問 消防格納庫及び詰所について

町長 町管内、大変老朽化している所がある、特に須恵、深田地区である。老朽化した倉庫、詰所建設の考えは、又トイレの考えは、

町長 須恵、深田地区以外はほぼ整備が終っている。須恵、深田地区においては、既に土台が腐れ床が落ちそうな所もあり、相当老朽化が見受けられ実状は十分把握している。

地元消防団、地区の方々の意見を聞き、まず詰所の統廃合計画を優先し、その計画に沿った詰所、格納庫整備を図っていく必要があると考える。

問 十七年度においても引き続き行政を取り巻く環境は極めて厳しい現状である。予算財源の確保、難問山積だが、将来を見つめ健全なる青少年育成、人材育成の観点に立ち、住民の方々が合併して良かったと思える様、今後執行部の積極的な取り組みを期待する。

行財政改革プランにおける住民との協働による「まちづくり」を進めるに当たっての高齢世帯への対応策を問う

年齢に応じた役割、協働をお願いしていきたい。

小見田和行議員



問 昨今の財政状況からも、すべてを行政に委ねるのも困難であると、住民の皆さんも認識されつつあると思う。

町長 多様なニーズに対し、質の高い適切なサービスを提供するためにも、住民と行政が互いに自己改革をしながら協働

を進めることが、今後求められていると思う。年一回でも全域で、協働による清掃、溝さらえの日を設けたらどうか。

町長 行財政プランを示す以上、区長会、分館長会等でも後、お願いしていきたいと考えている。

問 その際、高齢世帯の子供さんらが帰省される盆あたり「ふるさとクリーン作戦」でも銘づつて、都市住民と

の協働の企画をしてはどうか。定年を間近に控えられた団塊の世代に「田舎暮らし」を望まれる人も多いと聞く。地域経済の活性化にも期待できるのではないだろうか。

町長 町にとっては、ありがたい提案というふうにとらえている。

問 自主防災組織、隣保班長の選任にも高齢化の影響で、従前の様な輪番制が崩れつつあり行政に指導を仰いでおられる地区もあり、維持困難な社会機能の一端が読み取れるが、今後、統合、再編を含め、隣保班の育成をどのように進められるのか。

町長 町で一線を引くことは無理と思うが、相談には応じていきたいと思う。

問 乗り合いタクシーの使用状況が路線によって、かなり差が生じているが、「均衡ある発展、均衡ある福祉政策」の点からも今後その改善策、PRをどのようにされるか。

町長 各地区の要望をコースの設定、時間の設定に盛り込み、高齢者の方々の会合等にも出向き、利用増を図っていききたい。

横須賀入札制度研修後の町の対応について

地場産業の育成も必要だ

松本 光弘 議員



問 その後、入札制度の勉強会は開いているのか。

総務課長 電子入札については県で研修を受けている。

問 電子入札は横須賀でもすでにその制度を取り入れてはいるが、いろいろな方法をとって公共事業が安く上がるように努力をしている。地場産業の育成といわれるがいつまで必要なのか。下請け孫請けで地元業者の利潤は少ないのが現状だと思うが、本当に地場産業の育成になるのか。税金を納める人の立場で考えるべきだ。

町長 地場産業の育成という事で町長に立候補した。そんな過程の中でも一件でも無駄はしたくないが、地場産業の

育成という事で現在の状態にある。

問 森園公園管理棟は坪六十何万円。便所もないふる場もない炊事場もない倉庫である。同じ補助事業で作った多良木公立病院の医者住宅は、坪五十八万円である。森園の管理棟は建設中に何度か見に行ったが他の大工さんが働いていたが丸投げではないのか。こんな事で地場産業育成が出来るのか。又最低価格は何のために最低価格を設けるのか。

町長 本町では予定価格の八割と六割で設けている。最低価格は、粗悪品を使った粗悪工事で出来上がりが悪くならないように設ける。

問 最低制限価格は八割の価格までなら競争入札でも指名入札でも粗悪な工事にならないのなら八割ぎりぎりのところ

るに予定価格をおいて競争をするようにすれば、総務課長の考えのように最少の経費で最大の効果が出るのではないかと。又、落札率九十九%自治体職員と八十五%の職員の給料が同じではおかしいと考え

る。職員だけとは言わない議員だつて類似団体が十五名の自治体と二十二名の自治体で給料が同じではおかしいと思うが。

町長 節約という事で意味が解からないではない。

行財政改革への決意は

行財政改革推進室を設けて成果を出したい

鏡 興徳 議員



問 リーダーの役割で大事な事は 指針を示す事 実行者への指導 住民への明確な説明だと思ふ。行財政改革プランが策定された。厳しい中身への説明について考えを伺いたい。

町長 合併前には法定協議会の中でも、バラ色の未来が論じられた。しかし合併してみ

ると、財政上の課題が山積。さらに三位一体改革の出現。この為、基金を七億円余り取り崩した。このままでは大変なことになる。従って財政改革が急がれる。実行部隊の取りまとめとして、行財政改革推進室を設けたい。住民の方には概要版の配布や集会等で説明してゆきたい。

問 「夢ふくらむあさぎり町」とは良く言われるが、中々見えてこない。施政方針演説の中で示された項目を、より具体的に肉づけをして、住民に詳しく説明をし、実施されるべきと考えるが。

町長 公約等でも述べているが、最も大事と思うのは、農業・商工業等の地場産業を発展させることだと思ふ。あさぎりブランドの推進。林業の高付加価値化。商店街活性化。情報化社会に合わせてフアイバー網を敷く等して、商機拡大、産業育成に取り組みたい。

問 あさぎり町でも、昨年NEDOの支援を受けて、新エネルギー策定事業がなされた。委託会社からの報告がなされたと聞いているが、その成果について説明してほしい。事業化の可能性のあるものについて、民間へ情報提供して、産業活性化への支援をする考えはないか。

企画財政課長 報告書に基づき概要版を作成した。各世帯へ配布したい。省エネの部分は最も大事なので、住民の方にも関心を持ってもらいたい。事業化要望があれば、町として支援してゆきたい。

問 犬童町政はまだ緒についたばかりであるが、将来、記録より記憶に残り、語り継がれていくような町政をやっていつてもらいたいと願う。

うごき！！

議会活動報告

1月

- 1 / 4 あさぎり町成人式（須恵文化ホール）
- 1 / 5 あさぎり町消防団出初式（深田地区・向町河川公園）
- 1 / 14 全員協議会（あさぎり町議会議事堂）
- 1 / 17 1月定例郡議長会（球磨地域振興局）
- 1 / 19 総務文教常任委員会（あさぎり町議会議事堂）
- 1 / 21 広報調査特別委員会（広報誌発行について）
- 1 / 25 ”
- 1 / 28 ”
- 1 / 31 ケーブルテレビ及び防災行政無線施設整備事業特別委員会（あさぎり町議会議事堂）



あさぎり町消防団出初式
（幼年消防クラブ通常点検）

2月

- 2 / 10 臨時議会（あさぎり町議会議事堂）
- 2 / 14 2月定例郡議長会議（人吉市総合福祉センター）
- 2 / 15 新議員研修（熊本市自治会館）
- 2 / 21 熊本県町村議長会第55回定期総会（熊本市自治会館）
- 2 / 23 建設経済常任委員会（あさぎり町内の中山間地域の視察調査）
- 2 / 25 平成16年度球磨郡町村議会議員研修会（人吉市・鮎里）
- 2 / 27 あさぎり町芸術祭（須恵文化ホール）



第2回あさぎり町芸術祭

3月

- 3 / 4 3月定例郡議長会議（球磨地域振興局）
- 3 / 10～25 平成17年第1回あさぎり町議会定例会（あさぎり町議会議事堂）
- 3 / 14 ケーブルテレビ及び防災行政無線施設整備事業特別委員会（あさぎり町議会議事堂）
- ” 全員協議会（あさぎり町議会議事堂）

上球磨消防組合定例会議が三月四日（金）に上球磨消防署会議室で開催されました。長年の懸案だった分署設置が協議され、土地造成設計委託料、建設設計委託料、土地造成費を可決しました。建設地は白紙の状態ですが、水上村か湯前町に建設される事は上球磨消防組合分署設置協議会で申し合わせが来ていました。

同協議会では、水上村か湯前町に「東分署」を、平成十八年度に設置する予定。分署設置関係予算が可決したのは土地造成設計委託料三十万円、分署建設設計委託料七十万円、土地造成費三百万円等。職員定数条例も五十一人から五十八人に増員され、平成十七年度に七人の新規採用試験が実施されま

上球磨消防署の分署設置

そこが知りたい

議 会 の

一部事務組合議会報告

(人吉球磨広域行政組合議会)

平成16年12月22日(水) AM10:00

平成16年第4回定例会 カルチャーパレス第2会議室

認定第1号 平成15年度人吉球磨広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定について(他6件)

平成17年3月2日(水) AM10:00

平成17年第1回定例会 カルチャーパレス第2会議室

議案第4号 平成17年度人吉球磨広域行政組合一般会計予算(他15件)

(公立多良木病院組合議会)

平成17年2月28日(月) AM9:00

平成17年第1回定例会 公立多良木病院会議室

承認第2号 球磨郡公立多良木病院組合報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について(他13件)



増改築が計画されている公立多良木病院

(上球磨消防組合議会)

平成17年1月13日(木) AM10:00

平成17年第1回臨時会 上球磨消防署会議室

議案第3号 上球磨消防組合監査委員の選任について(他2件)

平成17年3月4日(金) PM3:00

平成17年第1回定例会 上球磨消防署会議室

議案第6号 上球磨消防組合職員定数条例の一部を改正する条例を定めることについて(他3件)
(51人から58人...平成18年度で採用)

日程第9 一般質問

(川辺川総合土地改良事業組合議会)

平成16年12月27日(木) AM10:00

平成16年12月定例会 川辺川総合土地改良事業組合会議室

議案18号 平成16年度川辺川総合土地改良事業組合一般会計補正予算について(他5件)

日程第10 一般質問

平成17年2月28日(月) AM10:00

平成17年2月定例会 川辺川総合土地改良事業組合会議室

議案第4号 平成17年度川辺川総合土地改良事業組合一般会計予算について(他2件)

日程第8 一般質問

婦人会活動を通して思うこと

須惠覚井 米田 美保

町民の声



早いもので、あさぎり町の誕生から二年が過ぎました。不安や期待の中で、歩み始めた新しい町ですが、はたして住民間の結びつきや、行政に対する安心感はいかがでしょうか。

今年、私は婦人会の役をさせて頂くことになりました。十四年前、地域の婦人会へ参加した頃から、多くのことを学ばせていただきました。ちょっと敬遠しがちな婦人会ですが、参加する度に、来て良かったと思うことばかりでした。先輩方には、子育ての悩み相談から宴会芸まで、それは楽しく盛り上がり、

亦然としたり、感動したりしたものです。きっと、こうやって地域らしさを学び、結び付きを強め、支え合う力を育ててきたのでしょうか。

しかし、婦人会発足当初の女性の立場と、現在を考えると、婦人会だけが、唯一のサークルではなくなってきたのが、現状ではないでしょうか。婦人会の義務ばかりが先行して、敬遠してしまう。それに加えて低年齢化し、活動したくても優先順位が、学校行事や、仕事が先になってくる。現に若い母親達が、役を受けざるを得ないのです。

けれども、会の中から学ぶことは、限りなく有り、この地域で、助け合って生きていく為にも、ぜったい失くしてはならないものなのです。

近年、地球規模で多くの災害等が起きています。いざという時、力になれるのは地域住民であり、解かり合えたお隣さんなのです。そんな時、号令ひとつで行動を起こせる、その時こそ「婦人会」なのではないでしょうか。普段は大した活動はできなくても、そこに組織がある。それだけで急場の力に成るのです。決して目立った組織でなくても良い、けれど決して無くしてはならない組織、それ

が婦人会だと思っております。須惠地区の婦人会の motto は「できる人が、できる時、できる事を」ということです。この婦人会の輪の中に、若い方も若きも集いませんか。又、行政も、女性の団結力をしっかりと支えていただけないでしょうか。

表紙の説明

(入学式)

満開の桜に迎えられて、4月11日あさぎり町全部の小学校で入学式が挙行されました。上小学校では皆越分校2名の新入生も加わって38名が入学しました。

やや緊張気味に会場に入場し、何もかもがめずらしく落ち着かないところもありましたが、新一年生の未来に大きな拍手が送られ新学期はスタートをしました。

編集後記

百花繚乱、春の日差しが心地よい時節となり、町民の皆様には御健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

あさぎり町誕生して二年が経ち、町の諸問題に対処しているこの時期に国は三位一体政策を打ち出してきました。町の財政は、合併当時に考えも及ばなかった厳しさに直面しています。

この度三月定例議会が開かれ、十七年度当初予算を主とする議案の審議がなされましたが、内容は行財政改革プランを示す等、財政の健全化を図ろうとする姿勢がうかがえました。

今回は予算に対する質疑応答も掲載し、できるだけ確に読み易い紙面に心掛けました。

スペースに限りがあり、全てがお知らせできない面もありますが、熟読いただき、御意見等を御聞かせ願います。

米田 勇一